

Symposium
Kintaiikyō

錦帯橋 シンポジウム

構造と美

世界遺産としての価値

平成
29年 11/12(日)
14:00~17:00

場所 / 岩国国際観光ホテル
ロイヤルホール
(山口県岩国市岩国一丁目1番7号)

※駐車場は限りがありますので、出来るだけ
公共交通機関をご利用ください。

参加
無料

■主催 / 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会

(錦帯橋を世界文化遺産に推す会、(一社)岩国市観光協会、岩国商工会議所、錦帯橋世界文化遺産専門委員会、山口県、山口県教育委員会、岩国市、岩国市教育委員会)

■後援 / 日本イコモス国内委員会、(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(公財)岩国の文化を育てる会、岩国ユネスコ協会、(公財)吉川報効会

錦帯橋 構造と美

シンポジウム 世界遺産としての価値

時は延宝元年(1673年)、川幅約200mの錦川を渡すため、4基の橋脚に、中央3つのアーチ橋、両端2つの反橋を架けた五連橋「錦帯橋」が創建されました。

この錦帯橋は、日本の木造文化の粋を体現する稀有な橋で、現在も受け継ぐその姿は日本を代表する美しさを兼ね備えています。

私たちは、錦帯橋の世界遺産登録に向け、真実性や唯一性についての検証を進める中で、その価値に確信を得てまいりました。

果たして、錦帯橋の価値や魅力が人類史上に誇るに値するのか——。このシンポジウムでは、「構造と美」をテーマに、錦帯橋の価値や魅力を再認識していきます。



現存する最古の錦帯橋図面
(元禄12年(1699年)) (岩国復古館蔵)

第一部 基調講演

「世界遺産の今と錦帯橋」

講師 岡田 保良

出演者プロフィール



コーディネーター
小林 一郎

熊本大学大学院
先端科学研究部特任教授
錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員長

1951年別府市生まれ。熊本大学大学院土木工学専攻修了。1997年から熊本大学工学部環境システム工学教授、2017年3月から現職。工学博士(京都大学)。



講師・パネリスト
岡田 保良

国士舘大学イラク古代文化研究所所長・教授
日本ユネスコ国内委員会委員
日本イコモス国内委員会副委員長

1949年大阪市生まれ。京都大学大学院修士課程(建築学専攻)修了。京都大学工学部助手を経て、1980年より国士舘大学講師、1995年同教授。博士(工学)(京都大学)。



パネリスト
腰原 幹雄

東京大学
生産技術研究所・教授
NPO team Timberize理事長

1968年千葉県生まれ。1992年東京大学工学部建築学科卒業、2001年東京大学大学院博士課程修了。構造設計集団(SDG)、東京大学大学院助手、生産技術研究所准教授を経て、2012年より現職。博士(工学)(東京大学)。



パネリスト
佐々木 葉

早稲田大学
創造理工学部
社会環境工学科教授

1961年鎌倉市生まれ。早稲田大学建築学科卒、東京工業大学大学院修了。東京大学、名古屋大学、日本福祉大学などを経て2003年より現職。工学修士(東京工業大学)、博士(工学)(東京大学)。



パネリスト
本田 秀行

金沢工業大学
環境・建築学部
環境土木工学科教授

1950年青森県中津軽郡岩木町生まれ。1975年金沢大学大学院工学研究科修了。金沢工業大学工学部土木工学科助手、同講師、同助教授などを経て、1994年より現職。工学博士(京都大学)。

お問い合わせ・お申し込み

所属・氏名・住所・電話番号を明記の上、
11月6日(月)までにお申し込みください。

錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会事務局 (岩国市産業振興部錦帯橋課内)

電話 0827-29-5107

ハガキ 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号

FAX 0827-22-2866

Eメール kintaikyo@city.iwakuni.lg.jp

「錦帯橋シンポジウム」参加申込書 FAX番号0827-22-2866

■FAXでお申し込みの場合はこの用紙に記入し、そのままお送りください。 ※ご記入いただきました個人情報は、当シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

所属	お名前	御住所	御連絡先(電話番号)
		〒 -	- -
		〒 -	- -
		〒 -	- -
		〒 -	- -